

熊本市アライグマ生息状況調査等
業務委託

報 告 書
(抜粋版)

令和 2 年 2 月

株式会社 地域環境計画 九州支社

目次

1. 業務概要	1
1-1 業務名	1
1-2 業務目的.....	1
1-3 実施履行期間	1
1-4 業務履行場所	1
2. 業務内容	2
2-1 生息状況調査	2
(1) 熊本県内におけるアライグマ確認状況の整理	2
(2) 調査箇所の選定	4
(3) 調査の実施.....	6
(4) 調査結果	20
(5) アライグマ確認状況の再整理.....	33
(6) 熊本市におけるアライグマ確認の経年推移.....	36

1. 業務概要

1-1 業務名

熊本市アライグマ生息状況調査等業務委託

1-2 業務目的

本市においてアライグマは平成 22 年に南区で 1 頭が確認されて以降、平成 29 年度に 3 件の確認情報（足跡の発見、自動撮影カメラによる個体の撮影及びへい死体の発見）、平成 30 年度には 9 件の確認情報（生存個体の捕獲 1 件及び自動撮影カメラによる個体の撮影 8 件）があり、増加傾向にある。隣接する周辺地域での確認情報も増加しており、生息数の増加や生息域の拡大が示唆される。今後は甚大な被害（農業被害・生活被害・生態系被害）が発生するおそれがあることから、生息状況を的確に把握し、対策を講じることが重要である。

本業務は、平成 28 年 3 月に策定した「熊本市生物多様性戦略～いきもん つながるくまもと Cプラン～」を踏まえ、熊本市において特に対策が必要な侵略的外来種として想定されるアライグマについて、フィールドサイン調査及び自動撮影カメラ設置により生息状況及び被害状況を把握し、侵入監視を行うことにより、アライグマの防除対策に資することを目的とした。

1-3 実施履行期間

令和元年 7 月 11 日より令和 2 年 2 月 29 日まで

1-4 業務履行場所

熊本市

2. 業務内容

2-1 生息状況調査

(1) 熊本県内におけるアライグマ確認状況の整理

調査箇所を選定にあたり、熊本県内におけるこれまでのアライグマ確認状況の整理を行った。

熊本県内においては、本業務開始時である令和元年7月時点で74例のアライグマ生息情報が確認されていた。生息確認状況一覧を表2-1に示す。

熊本市内においては、平成22年に県下初となる南区城南町での確認以降、確かな情報はなかったが、平成29年度に3件（南区野田：足跡、北区植木町豊岡：撮影、西区西松尾町：へい死体）、平成30年度に9件（南区城南町阿高：捕獲1件、南区富合町平原：撮影2件、北区植木町鈴麦：撮影1件、北区植木町平原：撮影4件、西区西松尾町：撮影1件）、令和元年度にすでに1件（北区植木町平原：撮影）が確認され、確認例数は増加傾向にあった。

また、それに前後して山鹿市、玉名市、玉東町、和水町、宇土市、宇城市と周辺市町での確認が相次ぐほか、平成31年3月には大津町、天草市での新たな確認もあり、県下での分布拡大が進行している状況であった。

表 2-1 熊本県内におけるアライグマ生息確認状況一覧 (1)

(令和元年7月16日時点)

No.	場 所	確認方法	頭数	捕獲等年月日	周辺環境
1	熊本市南区城南町鰐瀬	写真	1	H22.9.19	
2	上益城郡御船町	写真	1	H24.3.3	
3	上益城郡御船町	写真	1	H24.4.28	耕作地脇の沢
4	荒尾市平山小山	捕獲	1	H26.2.3	里山
5	菊池市重味	写真	1	H26.7.25	ブドウ園
6	阿蘇郡小国町大字下城	写真	1	H26.9.30	山林
7	阿蘇郡小国町大字黒渕	写真	1	H26.10.1	山林
8	阿蘇郡小国町大字下城	写真	1	H26.10.3	山林
9	阿蘇郡小国町大字黒渕	捕獲	1	H26.10.23	山林
10	玉名市下	死亡個体	1	H26.12.4	道路上事故死
11	山鹿市鹿北町大字多久	捕獲	1	H27.12.4	里山
12	宇城市松橋町竹崎	写真	2	H28.2.22	道路沿い
13	阿蘇郡高森町大字上色見字大村	捕獲	1	H28.3.20	里山
14	山鹿市小坂	死亡個体	1	H28.9.24	道路上事故死
15	玉名市安楽寺染山地内	捕獲	2	H28.11.6	里山
16	山鹿市(詳細位置不明)	捕獲	1	H28.11.22	鳥獣捕獲報告より
17	山鹿市(詳細位置不明)	捕獲	1	H28.11.15～ H29.2.15	鳥獣捕獲報告より
18	上益城郡益城町	写真(足跡)	1	H29.3.5	水田脇水路
19	宇城市松橋町曲野	捕獲(幼獣)	1	H29.6.9	メロンハウス
20	熊本市南区野田	写真(足跡)	1	H29.6.21	河川沿い
21	熊本市北区植木町豊岡	写真	1	H29.9.23	水路沿い

表 2-1 熊本県内におけるアライグマ生息確認状況一覧 (2)

No.	場 所	確認方法	頭数	捕獲等年月日	周辺環境
22	上益城郡山都町金内	死亡個体	1	H29.10.16	道路上事故死
23	宇城市三角町大田尾	死亡個体	1	H29.11.13	道路上事故死
24	熊本市西区西松尾町	死亡個体	1	H30.1.16	道路上事故死
25	山鹿市菊鹿町上内田	捕獲	1	H30.2.21	林道沿い
26	玉名郡南関町関東	写真	1	H30.2.26	ため池
27	玉名市安楽寺	捕獲	1	H30.3.1	畑
28	玉名郡南関町関東	写真	1	H30.3.23	ため池
29	玉名郡和水町日平	捕獲	1	H30.4.24	林道沿い
30	宇土市岩古曾町	写真	1	H30.4.25	民家付近通路
31	玉名郡和水町日平	捕獲	1	H30.4.26	林道沿い
32	玉名郡南関町関町	捕獲	1	H30.5.5	ため池脇
33	玉名郡南関町関町	死亡個体	1	H30.5.22	道路沿い
34	玉名郡玉東町上木葉	写真	1	H30.7.29	川沿い
35	熊本市南区城南町阿高	捕獲	1	H30.8.15	川沿い
36	玉名郡玉東町上木葉	捕獲	1	H30.8.17	山林
37	熊本市南区富合町平原	写真	1	H30.8.25	山林の沢沿い
38	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	H30.9.23	山林の沢沿い
39	玉名市安楽寺	写真	1	H30.10.6	山林の沢沿い
40	玉名市安楽寺	写真	1	H30.10.7	山林の沢沿い
41	玉名市安楽寺	写真	1	H30.10.10	山林の沢沿い
42	山鹿市石	死亡個体	1	H30.10.10	道路上事故死
43	玉名郡和水町日平	写真	1	H30.10.11	山林の沢沿い
44	菊池市重味	写真	1	H30.10.13	ブドウ園
45	玉名市安楽寺	写真	1	H30.10.20	山林の沢沿い
46	玉名郡玉東町浦田	写真	1	H30.10.22	山林の沢沿い
47	玉名市安楽寺	写真	1	H30.10.24	山林の沢沿い
48	玉名郡玉東町浦田	写真	1	H30.10.30	山林の沢沿い
49	玉名郡玉東町浦田	捕獲	1	H30.10.31	山林の沢沿い
50	玉名郡玉東町浦田	写真	2	H30.11.4	山林の沢沿い
51	玉名市安楽寺	写真	1	H30.11.4	山林の沢沿い
52	玉名郡玉東町上白木	捕獲	1	H30.11.5	山林
53	玉名市安楽寺	捕獲	1	H30.11.5	山林の沢沿い
54	玉名市安楽寺	写真	1	H30.11.5	山林の沢沿い
55	玉名市安楽寺	写真	1	H30.11.6	山林の沢沿い
56	熊本市北区植木町平原	写真	1	H30.11.7	山林の沢沿い
57	玉名郡玉東町浦田	写真	1	H30.11.14	山林の沢沿い
58	玉名郡玉東町浦田	写真	1	H30.11.15	山林の沢沿い
59	山鹿市小坂	写真	1	H30.11.24	山林の沢沿い
60	玉名市安楽寺	捕獲	1	H30.11.24	山林の沢沿い
61	山鹿市菊鹿町上内田	捕獲	1	H30.12.5	山林
62	熊本市南区富合町平原	写真	1	H30.12.6	山林の沢沿い
63	熊本市北区植木町平原	写真	1	H30.12.23	山林の沢沿い
64	玉名郡玉東町浦田	写真	1	H31.1.8	山林の沢沿い

熊本県内におけるアライグマ生息確認状況一覧（3）

No.	場 所	確認方法	頭数	捕獲等年月日	周辺環境
65	熊本市北区植木町平原	写真	1	H31.1.9	山林の沢沿い
66	山鹿市鹿北町椎持	捕獲	1	H31.1.15	宅地
67	玉名市石貫	捕獲	1	H31.1.23	山林
68	菊池市雪野	捕獲	1	H31.2.1	山林の沢沿い
69	熊本市西区西松尾町	写真	1	H31.2.9	山林
70	山鹿市鹿北町多久	捕獲	1	H31.2.13	山林
71	熊本市北区植木町平原	写真	1	H31.3.2	山林の沢沿い
72	大津町平川	写真	1	H31.3.12	民家屋根裏
73	天草市本渡町広瀬	捕獲	1	H31.3.19	イチゴハウス脇
74	熊本市北区植木町平原	写真	1	R 元.5.5	山林の沢沿い
74 事例 個体確認 77 頭（うち捕獲及び死亡個体 33 頭）					

※ : 熊本市内での確認

（2）調査箇所の選定

これまでにアライグマが確認されている地点（北区、西区、南区）を中心とし、さらに、周辺市町での確認情報を基に新たな侵入の可能性を検討し、調査箇所を選定した。特に移動経路となることが想定される河川等の水域、餌場としての利用が想定される果樹園及び耕作地、ねぐら等の利用が想定される樹林地といった環境が複合的に存在する箇所に着目し、調査を実施した。なお、調査箇所の選定に際しては、有識者（森林総合研究所 九州支所 安田雅俊氏）にヒアリングを行い、助言を得た。有識者ヒアリングの記録簿は資料編に示す。

調査箇所の選定結果を表 2-2 に、調査箇所位置を図 2-1 に示す。

表 2-2 調査箇所の選定結果

地区	選定箇所
北区	① 平成 29 年以降、確認が相次いでいる国見山山塊周辺域 (植木町平原・鈴麦・豊岡など)
西区	② 平成 30 年及び 31 年に確認されている西松尾町を中心とした金峰山周辺域 (坪井川及び国道 501 号線沿い)
南区	③ 平成 29 年以降、確認が相次いでいる雁回山周辺域 (富合町平原、城南町阿高など) ④ 確認記録がある野田 (H29)、城南町鰐瀬 (H22)

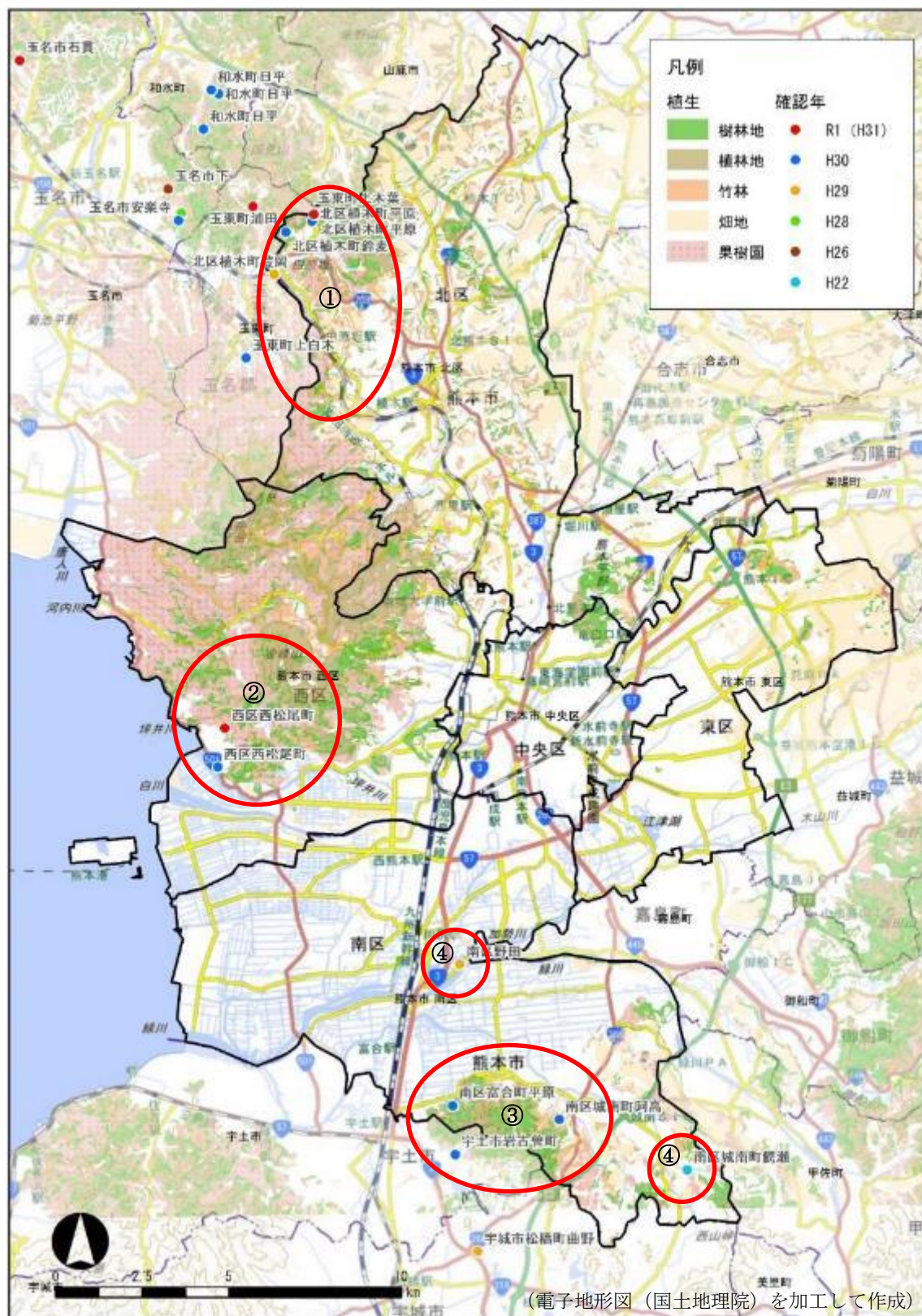


図 2-1 調査箇所位置図

(3) 調査の実施

選定した調査箇所において、フィールドサイン（足跡、爪痕、糞、食痕等）調査及び自動撮影カメラ調査を実施した。

フィールドサイン調査では痕跡の残りやすい水辺環境や耕作地、また社寺等の爪痕にも留意して調査を実施した。自動撮影カメラ調査ではフィールドサイン調査においてアライグマの可能性のある痕跡が確認された付近や、アライグマの出没が予想される場所に自動撮影カメラを設置した。フィールドサイン調査は10人日以上、自動撮影カメラ調査はカメラを20台以上、150日以上設置することとした。また、カメラの近くに誘引剤（落花生、ビーフジャーキー、コーン菓子など）を設置し、撮影の確率を向上させるよう努めた。

フィールドサイン調査の実施日程を表2-3、自動撮影カメラ調査の実施日程を表2-4、自動撮影カメラの設置状況を表2-5～7に示し、フィールドサイン調査実施位置及び自動撮影カメラ設置位置を図2-2～6に示す。

表 2-3 フィールドサイン調査実施日程

項目	調査日
フィールドサイン調査	(北区) 令和元年7月25日、8月30日、11月5日
	(西区) 令和元年8月8日、30日、11月26日
	(南区) 令和元年7月30日、8月22日、9月11日、25日 11月6日、26日、12月10日
	計 11 日

表 2-4 自動撮影カメラ調査実施日程

カメラ No.	カメラ地点	設置日	回収日	設置日数	合計日数
No. 1	北-1	R 元. 7. 11	R2. 1. 31	204	204
No. 2	北-2	R 元. 8. 30	R2. 1. 31	154	154
No. 3	北-3	R 元. 7. 25	R2. 1. 31	190	190
No. 4	北-4	R 元. 7. 11	R2. 1. 31	204	204
No. 5	北-5	R 元. 7. 25	R2. 1. 31	190	190
No. 6	北-6	R 元. 7. 11	R2. 1. 31	204	204
No. 7	北-7	R 元. 8. 30	R 元. 11. 5	67	154
	北-9	R 元. 11. 5	R2. 1. 31	87	
No. 8	北-8	R 元. 8. 30	R 元. 11. 5	67	154
	北-10	R 元. 11. 5	R2. 1. 31	87	
No. 9	西-1	R 元. 8. 30	R2. 1. 31	154	154
No. 10	西-2	R 元. 7. 11	R2. 1. 31	204	204
No. 11	西-3	R 元. 8. 8	R2. 1. 31	176	176
No. 12	西-4	R 元. 8. 8	R 元. 11. 26	110	176
	西-5	R 元. 11. 26	R2. 1. 31	66	
No. 13	南-1	R 元. 8. 22	R2. 1. 31	162	162
No. 14	南-2	R 元. 7. 30	R 元. 11. 6	99	185
	南-9	R 元. 11. 6	R2. 1. 31	86	
No. 15	南-3	R 元. 7. 11	R2. 1. 31	204	204
No. 16	南-4	R 元. 7. 11	R2. 1. 31	204	204
No. 17	南-5	R 元. 7. 30	R 元. 11. 6	99	185
	南-10	R 元. 11. 6	R2. 1. 31	86	
No. 18	南-6	R 元. 7. 11	R 元. 11. 6	118	204
	南-11	R 元. 11. 6	R2. 1. 31	86	
No. 19	南-7	R 元. 7. 11	R 元. 11. 6	118	204
	南-12	R 元. 11. 6	R2. 1. 31	86	
No. 20	南-8	R 元. 7. 30	R2. 1. 31	185	185
No. 21	南-13	R 元. 12. 10	R2. 1. 31	52	52

※No. 21 は補足的に追加設置したため、150 日には満たない。

表 2-5 自動撮影カメラ設置状況〔北区〕(1)

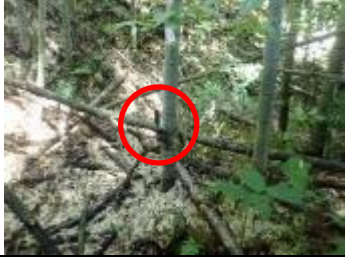
カメラ No.	設置位置及び環境	設置期間
北-1 	地名：北区植木町平原 【設置場所】 緯度：32° 55′ 52.37″ 経度：130° 39′ 4.68″ 【設置環境】 沢沿い ●平成 30 年度アライグマ確認地点 ●山鹿市、玉東町との境界部 ●移動経路となる沢沿い	R 元. 7. 11～R2. 1. 31
北-2 	地名：北区植木町鈴麦 【設置場所】 緯度：32° 55′ 51.91″ 経度：130° 38′ 54.93″ 【設置環境】 沢沿い ●玉東町との境界部 ●果樹園に隣接する沢沿いに設置	R 元. 8. 30～R2. 1. 31
北-3 	地名：北区植木町鈴麦 【設置場所】 緯度：32° 55′ 46.9″ 経度：130° 38′ 57.26″ 【設置環境】 沢沿い ●玉東町との境界部 ●果樹園に近い沢沿いに設置	R 元. 7. 25～R2. 1. 31
北-4 	地名：北区植木町鈴麦 【設置場所】 緯度：32° 55′ 36.1″ 経度：130° 38′ 32.94″ 【設置環境】 沢沿い ●H30 年度アライグマ確認地点 ●玉東町との境界部 ●耕作地、果樹園に近い沢沿いに設置	R 元. 7. 11～R2. 1. 31
北-5 	地名：北区植木町鈴麦 【設置場所】 緯度：32° 55′ 31.04″ 経度：130° 38′ 44.99″ 【設置環境】 沢沿い ●北-4 下流側に位置する ●果樹園、耕作地が隣接する沢沿いに設置	R 元. 7. 25～R2. 1. 31

表 2-5 自動撮影カメラ設置状況〔北区〕(2)

カメラ No.	設置位置及び環境	設置期間
北-6 	地名：北区植木町豊岡 【設置場所】 緯度：32° 54′ 56.67″ 経度：130° 38′ 19.34″ 【設置環境】 水路沿い ●H29 年度アライグマ確認地点 ●移動経路となる水路沿いに設置	R 元. 7. 11～R2. 1. 31
北-7 	地名：北区植木町豊岡 【設置場所】 緯度：32° 54′ 48.86″ 経度：130° 38′ 52.59″ 【設置環境】 湿地沿い ●目撃情報のあった田原坂付近 ●耕作地に隣接する山林内の湿地に設置	R 元. 8. 30～R 元. 11. 5 (北-9 へ移動)
北-8 	地名：北区植木町轟 【設置場所】 緯度：32° 53′ 42.71″ 経度：130° 39′ 21.43″ 【設置環境】 林縁部、耕作地 ●目撃情報のあった轟地区 ●耕作地、湿地が隣接する林縁部に設置	R 元. 8. 30～R 元. 11. 5 (北-10 へ移動)
北-9 	地名：北区植木町鈴麦 【設置場所】 緯度：32° 55′ 27.94″ 経度：130° 38′ 46.96″ 【設置環境】 沢沿い ●北-5 下流側に位置する ●果樹園、耕作地が隣接する沢沿いに設置	R 元. 11. 5～R2. 1. 31
北-10 	地名：北区植木町鈴麦 【設置場所】 緯度：32° 55′ 22.12″ 経度：130° 38′ 36.63″ 【設置環境】 樹林地 ●玉東町との境界部 ●廃屋、果樹園が隣接する樹林地に設置	R 元. 11. 5～R2. 1. 31

表 2-6 自動撮影カメラ設置状況〔西区〕

カメラ No.	設置位置及び環境	設置期間
西-1 	地名：西区松尾町平山 【設置場所】 緯度：32° 48' 38.16" 経度：130° 37' 28.14" 【設置環境】 山林内 ●平山神社裏の山林 ●河内川支流の上流に位置する ●北側からの移動経路となることを想定して設置	R 元. 8. 30～R2. 1. 31
西-2 	地名：西区西松尾町 【設置場所】 緯度：32° 47' 50.86" 経度：130° 37' 16.87" 【設置環境】 沢沿い ●H30 年度アライグマ確認地点 ●移動経路となる沢沿いの林道に設置	R 元. 7. 11～R2. 1. 31
西-3 	地名：西区西松尾町 【設置場所】 緯度：32° 47' 48.78" 経度：130° 37' 23.92" 【設置環境】 山林内 ●西-2 の上流側に位置 ●果樹園が隣接する作業道沿いに設置	R 元. 8. 8～R2. 1. 31
西-4 	地名：西区中松尾町 【設置場所】 緯度：32° 47' 30.32" 経度：130° 38' 48.02" 【設置環境】 沢沿い ●西-2 の東側に位置 ●金峰山方面から南下する経路になることを想定して設置	R 元. 8. 8～R 元. 11. 26 (西-5 へ移動)
西-5 	地名：西区中松尾町 【設置場所】 緯度：32° 47' 48.6" 経度：130° 38' 36.87" 【設置環境】 沢沿い ●西-4 の上流に位置 ●金峰山方面から南下する経路になることを想定して設置	R 元. 11. 26～R2. 1. 31

表 2-7 自動撮影カメラ設置状況〔南区〕(1)

カメラ No.	設置位置及び環境	設置期間
南-1 	地名：南区野田 【設置場所】 緯度：32° 44′ 5.92″ 経度：130° 41′ 33.07″ 【設置環境】 河川沿い (緑川右岸 加勢川水門) ●H29 年度アライグマ足跡確認地点 ●移動経路となる河川沿いに設置	R 元. 8. 22～R2. 1. 31
南-2 	地名：南区富合町平原 【設置場所】 緯度：32° 41′ 51.98″ 経度：130° 41′ 19.18″ 【設置環境】 沢沿い ●南-3 西側に位置 ●廃屋が隣接する山林内に設置	R 元. 7. 30～R 元. 11. 6 (南-9 へ移動)
南-3 	地名：南区富合町平原 【設置場所】 緯度：32° 41′ 52.7″ 経度：130° 41′ 23.01″ 【設置環境】 沢沿い ●H30 年度アライグマ確認地点 ●ため池上流側の沢沿いに設置	R 元. 7. 11～R2. 1. 31
南-4 	地名：南区富合町木原 【設置場所】 緯度：32° 42′ 8.74″ 経度：130° 42′ 5.95″ 【設置環境】 沢沿い ●南-3 の東側に位置 ●移動経路となる沢沿いに設置	R 元. 7. 11～R2. 1. 31
南-5 	地名：南区城南町阿高 【設置場所】 緯度：32° 41′ 36.7″ 経度：130° 42′ 58.56″ 【設置環境】 沢沿い ●南-6 西側に位置 ●ため池上流の沢沿いに設置	R 元. 7. 30～R 元. 11. 6 (南-10 へ移動)

表 2-7 自動撮影カメラ設置状況〔南区〕(2)

カメラ No.	設置位置及び環境	設置期間
南-6 	地名：南区域南町東阿高 【設置場所】 緯度：32° 41′ 37.18″ 経度：130° 43′ 21.22″ 【設置環境】 沢沿い ●H30 年度アライグマ捕獲地点脇 ●移動経路となる沢沿いに設置	R 元. 7. 11～R 元. 11. 6 (南-11 へ移動)
南-7 	地名：南区域南町東阿高 【設置場所】 緯度：32° 41′ 42.48″ 経度：130° 43′ 31.5″ 【設置環境】 沢沿い ●H30 年度アライグマ捕獲地点に近接する地点 ●移動経路となる沢沿いに設置	R 元. 7. 11～R 元. 11. 6 (南-12 へ移動)
南-8 	地名：南区域南町鰐瀬 【設置場所】 緯度：32° 40′ 28.24″ 経度：130° 46′ 15.21″ 【設置環境】 湿地脇 ●H22 年度アライグマ確認地点に近接する地点 ●山林内の湿地脇に設置	R 元. 7. 30～R2. 1. 31
南-9 	地名：南区域富合町平原 【設置場所】 緯度：32° 41′ 49.12″ 経度：130° 41′ 10.86″ 【設置環境】 沢沿い ●南-3 西側に位置 ●宇土市との境界部 ●ため池下流の沢沿いに設置	R 元. 11. 6～R2. 1. 31
南-10 	地名：南区域南町阿高 【設置場所】 緯度：32° 41′ 54.19″ 経度：130° 43′ 0.04″ 【設置環境】 沢沿い ●南-5 北側に位置 ●移動経路となる沢沿いに設置	R 元. 11. 6～R2. 1. 31

表 2-7 自動撮影カメラ設置状況〔南区〕(3)

カメラ No.	設置位置及び環境	設置期間
南-11 	地名：南区城南町東阿高 【設置場所】 緯度：32° 41′ 39.9″ 経度：130° 43′ 21.27″ 【設置環境】 沢沿い ●南-6 の下流側に位置 ●移動経路となる沢沿いに設置	R 元. 11. 6～R2. 1. 31
南-12 	地名：南区城南町東阿高 【設置場所】 緯度：32° 41′ 29.49″ 経度：130° 43′ 15.89″ 【設置環境】 沢沿い ●南-6 の上流側に位置 ●移動経路となる沢沿いに設置	R 元. 11. 6～R2. 1. 31
南-13 	地名：南区刈草 【設置場所】 緯度：32° 45′ 37.51″ 経度：130° 40′ 59.67″ 【設置環境】 水路沿い ●R 元年度アライグマ確認地点(日吉地区)に近接 ●移動経路となる水路沿いに設置	R 元. 12. 10～R2. 1. 31



図 2-2 調査実施箇所 (全体)

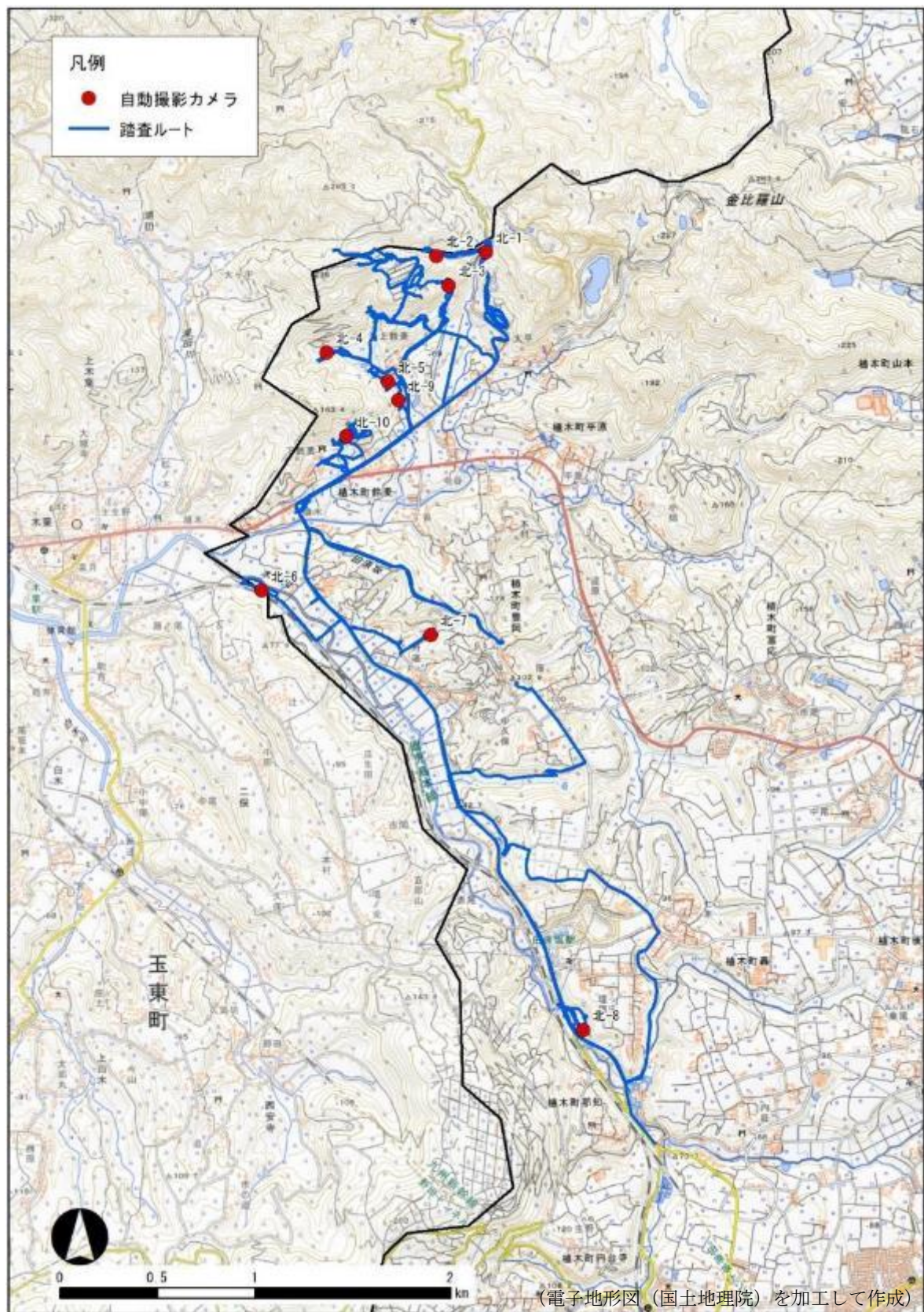


図 2-3 調査実施箇所（詳細：北区）



図 2-4 調査実施箇所（詳細：西区）

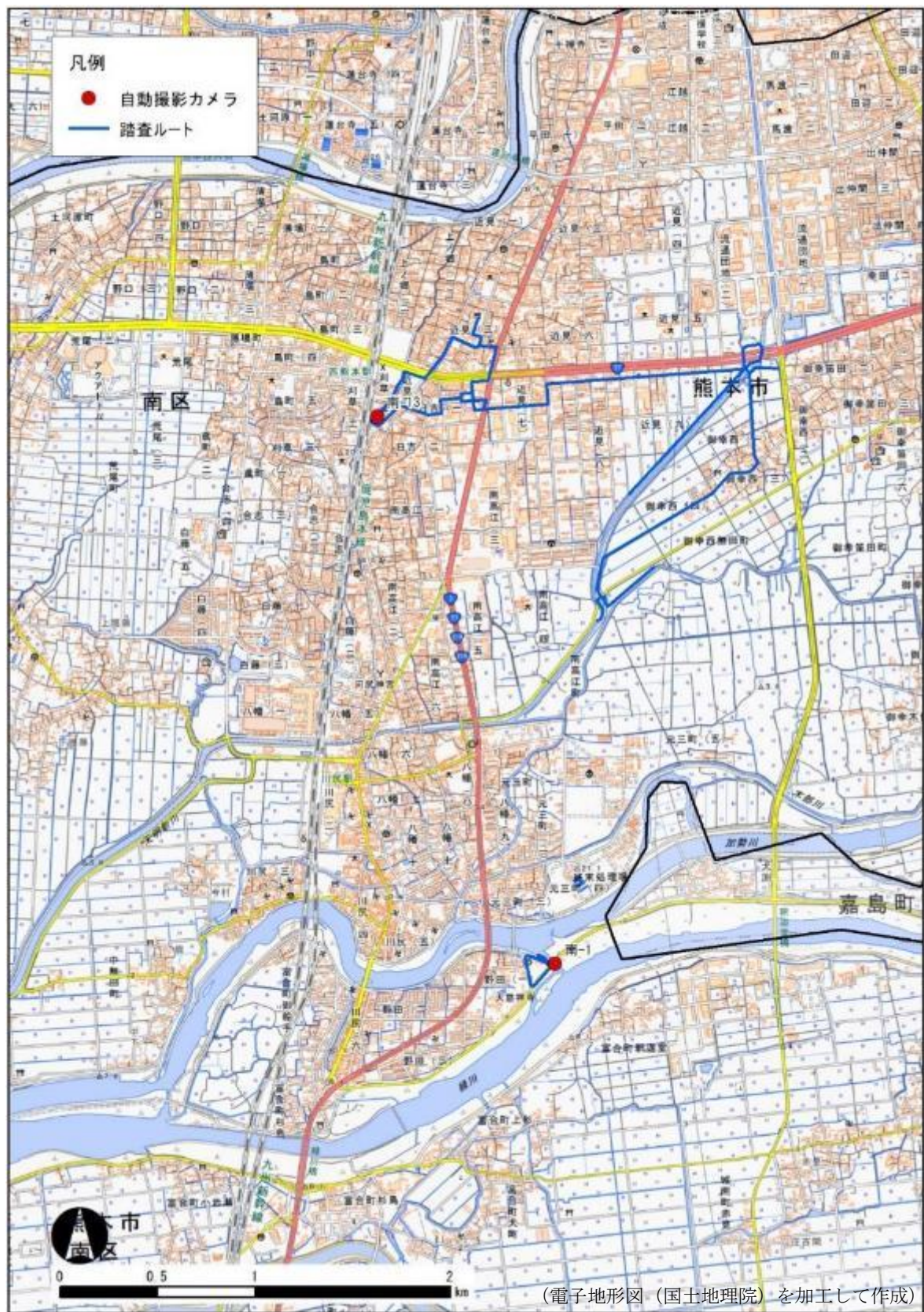


図 2-5 調査実施箇所（詳細：南区-1）

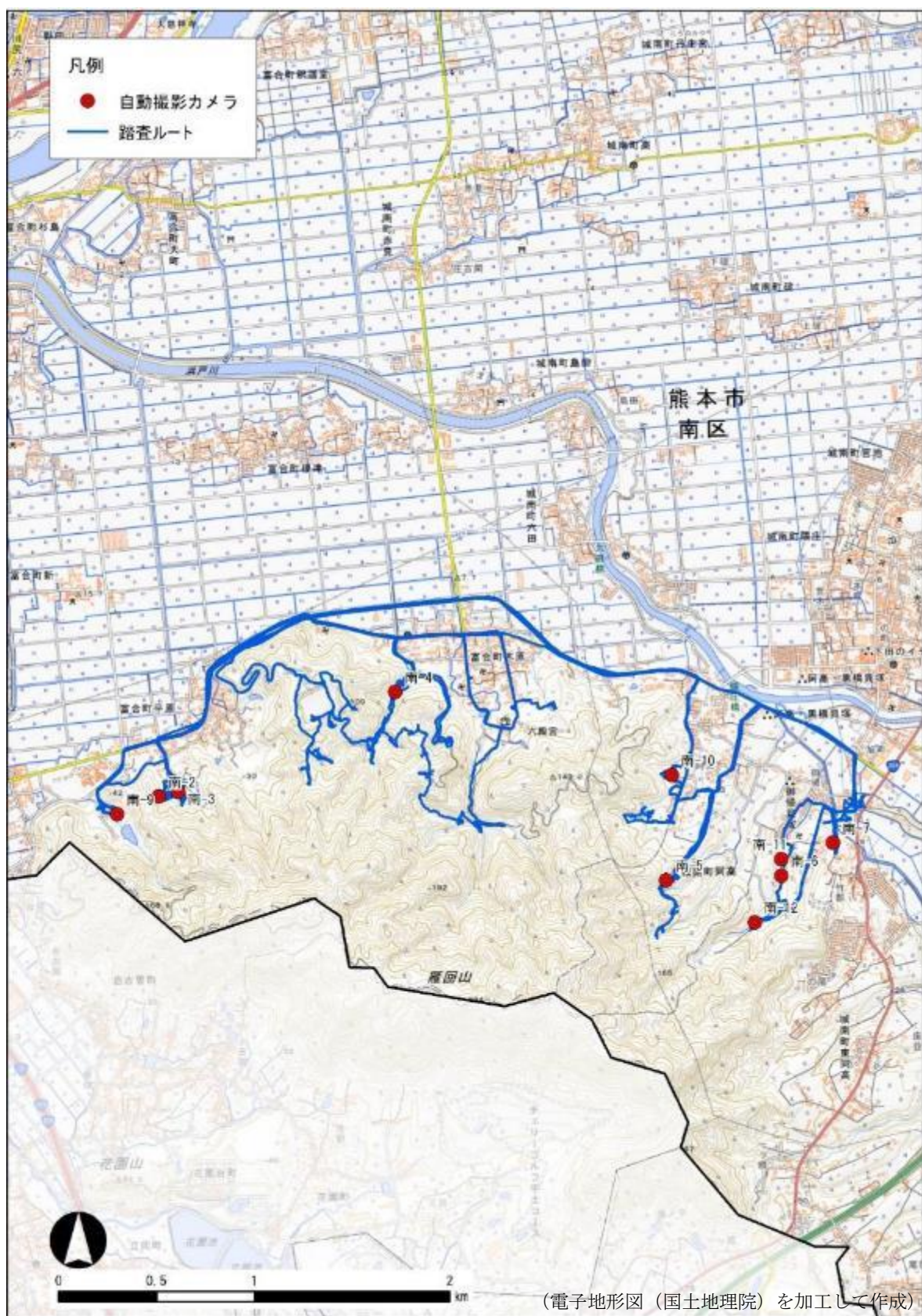


図 2-6 調査実施箇所（詳細：南区-2）

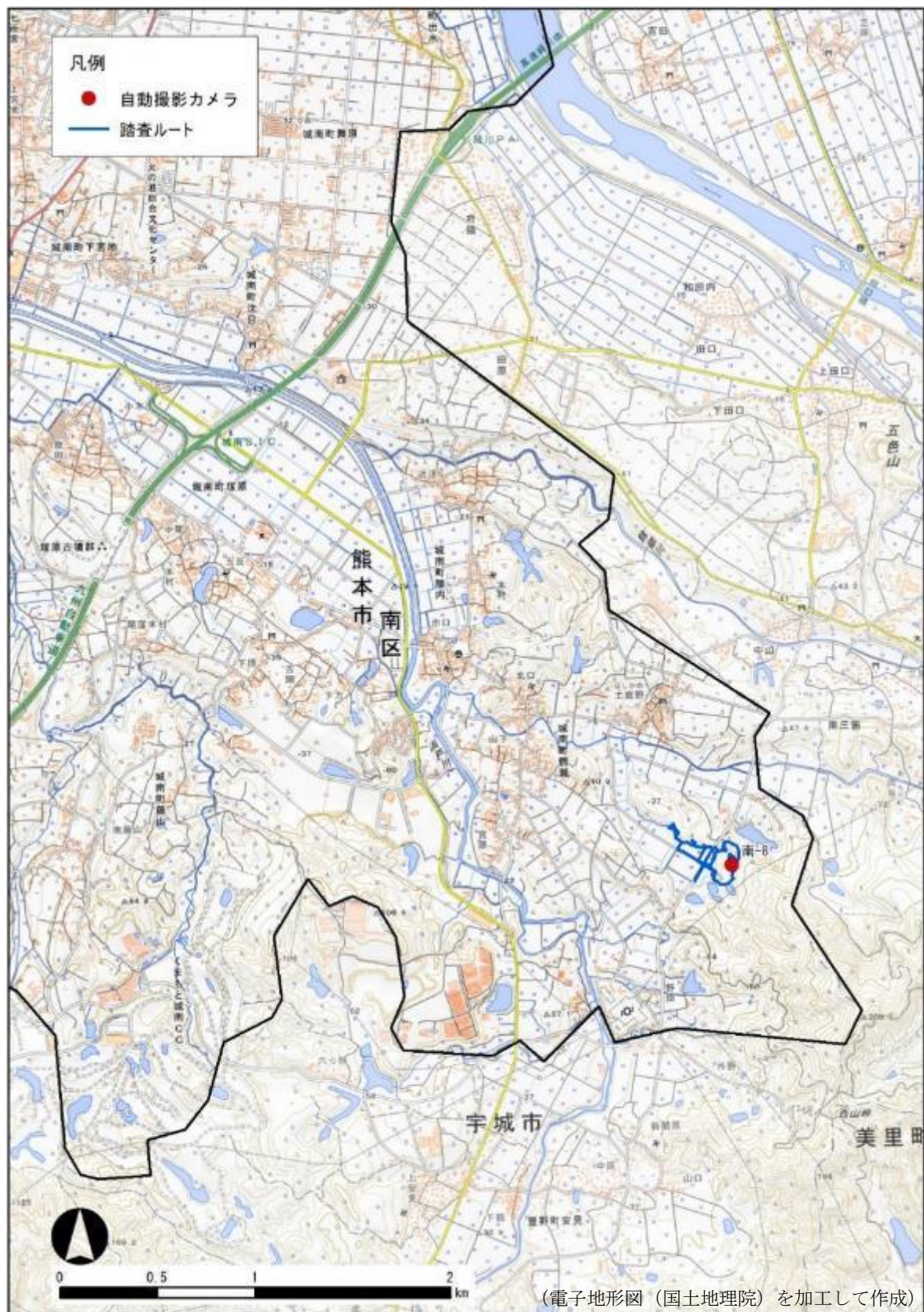


図 2-7 調査実施箇所（詳細：南区-3）

(4) 調査結果

① 結果概要

調査の結果、北区植木町平原及び同町鈴麦に設置した自動撮影カメラ 5 地点（北-1～5）において延べ 27 回アライグマが確認された。

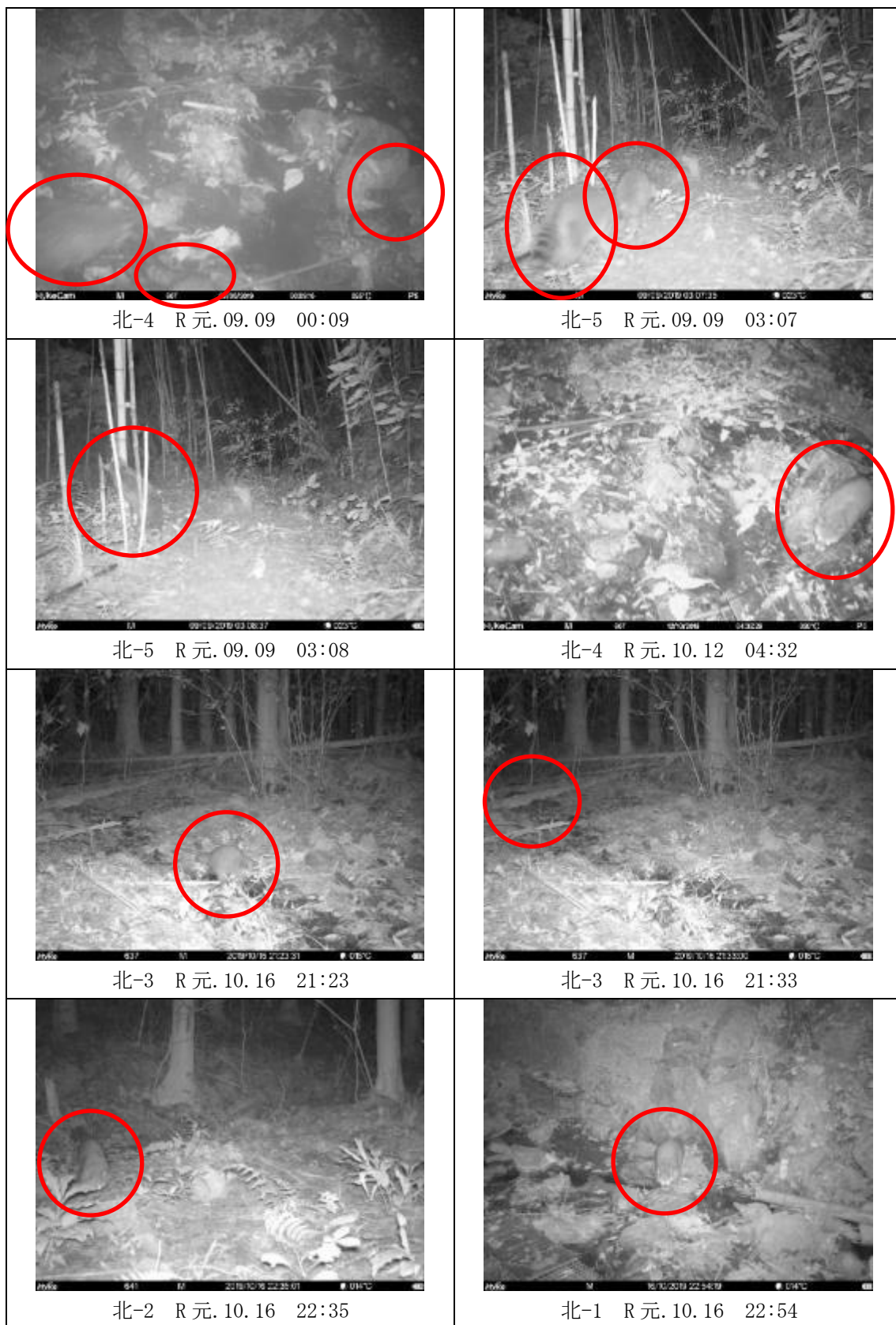
アライグマの確認状況を表 2-8 に示し、以下に撮影画像一覧を示す。

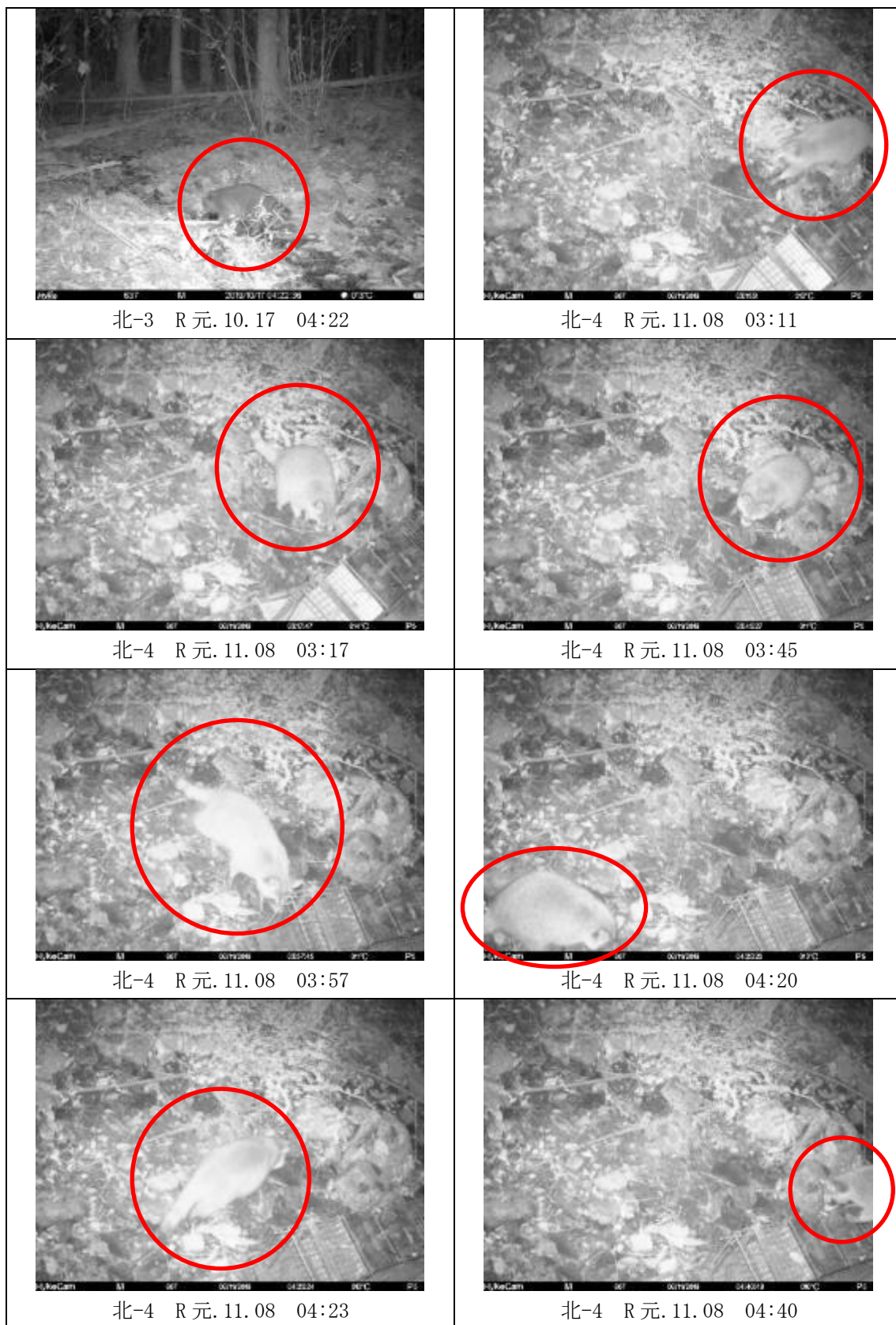
表 2-8 アライグマ確認状況一覧

No.	撮影日	撮影時間	確認地点	備考
1	R 元. 07. 25	23:00	北-5	
2	R 元. 07. 25	23:06	北-4	
3	R 元. 08. 04	02:43	北-1	
4	R 元. 08. 12	23:47	北-3	
5	R 元. 08. 12	23:48	北-3	※No. 4 と同一個体の可能性あり
6	R 元. 08. 13	00:21	北-1	
7	R 元. 08. 13	00:23	北-1	※No. 6 と同一個体の可能性あり
8	R 元. 08. 13	00:24	北-1	※No. 6 と同一個体の可能性あり
9	R 元. 09. 09	00:09	北-4	3 個体
10	R 元. 09. 09	03:07	北-5	2 個体
11	R 元. 09. 09	03:08	北-5	※No. 10 と同一個体の可能性あり
12	R 元. 10. 12	04:32	北-4	
13	R 元. 10. 16	21:23	北-3	
14	R 元. 10. 16	21:33	北-3	※No. 13 と同一個体の可能性あり
15	R 元. 10. 16	22:35	北-2	
16	R 元. 10. 16	22:54	北-1	
17	R 元. 10. 17	04:22	北-3	
18	R 元. 11. 08	03:11	北-4	箱わな内に捕獲個体あり
19	R 元. 11. 08	03:17	北-4	※No. 18 と同一個体の可能性あり
20	R 元. 11. 08	03:45	北-4	※No. 18 と同一個体の可能性あり
21	R 元. 11. 08	03:57	北-4	※No. 18 と同一個体の可能性あり
22	R 元. 11. 08	04:20	北-4	※No. 18 と同一個体の可能性あり
23	R 元. 11. 08	04:23	北-4	※No. 18 と同一個体の可能性あり
24	R 元. 11. 08	04:40	北-4	※No. 18 と同一個体の可能性あり
25	R 元. 11. 08	04:43	北-4	※No. 18 と同一個体の可能性あり
26	R 元. 11. 16	18:57	北-5	
27	R2. 01. 21	01:35	北-2	

〈アライグマ撮影画像一覧〉

 北-5 R 元. 07. 25 23:00	 北-4 R 元. 07. 25 23:06
 北-1 R 元. 08. 04 02:43	 北-3 R 元. 08. 12 23:47
 北-3 R 元. 08. 12 23:48	 北-1 R 元. 08. 13 00:21
 北-1 R 元. 08. 13 00:23	 北-1 R 元. 08. 13 00:24





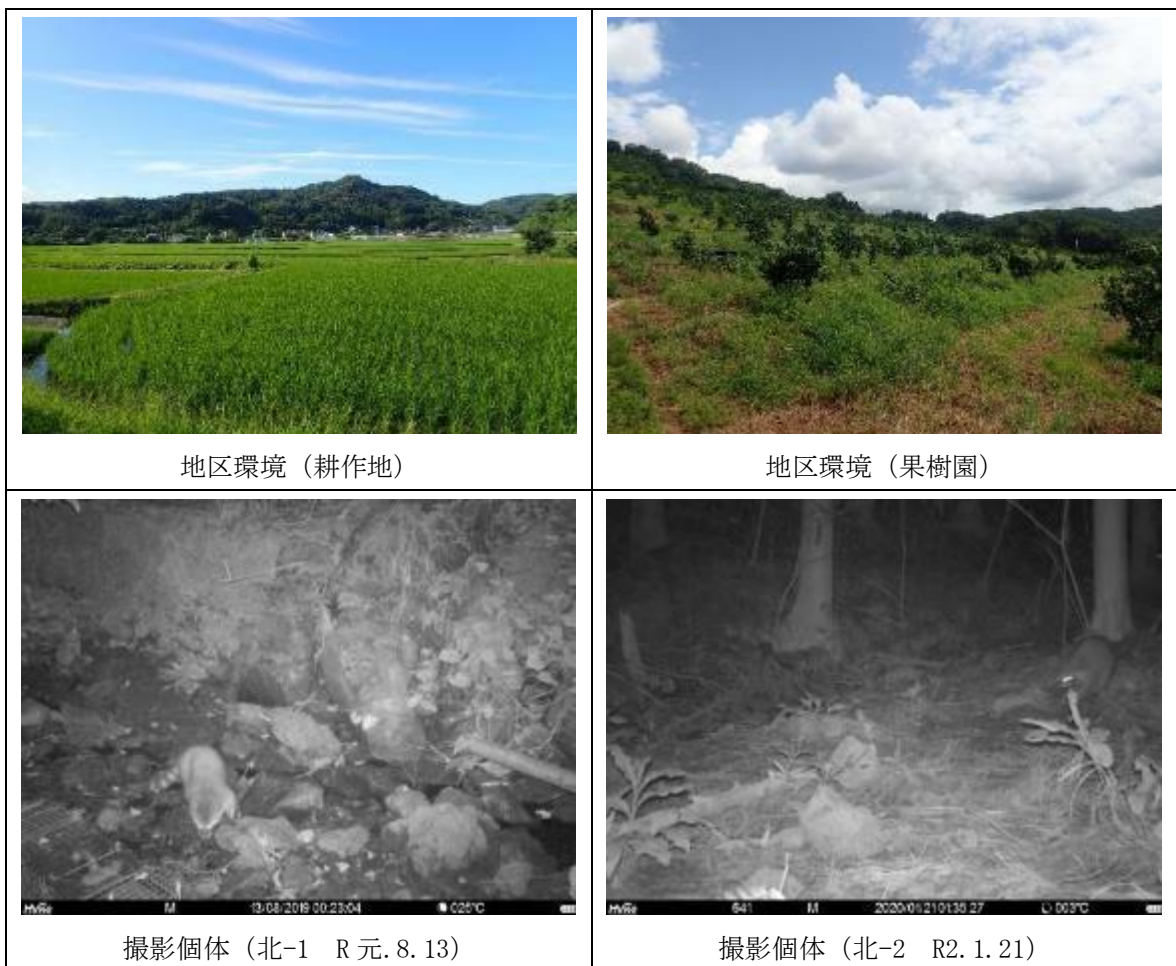
 北-4 R 元. 11. 08 04:43	 北-5 R 元. 11. 16 18:57
 北-2 R2. 01. 21 01:35	

② 北区

過去の確認地点やその周辺域における耕作地、果樹園、沢などの環境においてフィールドサイン調査やヒアリングを実施したが、確実な痕跡や情報は確認されなかった。

これまでの確認状況や市に寄せられた地域住民からの情報を基に、木葉山周辺（平原、鈴麦地区）や田原坂周辺にかけての範囲にカメラを設置した結果、植木町平原地区（北-1）、鈴麦地区（北-2、3、4、5）の計5地点に設置した自動撮影カメラにおいて延べ27回、アライグマが確認された。このうち、北-4では3個体同時、北-5では2個体同時での撮影がされたことで、複数個体の生息が確認された。月に1回程度の確認であることから、頻繁に利用する場所からは少し離れている可能性があるが、7月から1月まで継続的に確認されているため、付近に複数個体が定着している可能性がある。

また、11月8日に鈴麦地区において1頭（成獣オス）が捕獲・処分されたが、この捕獲と同時に別の1頭が撮影され、その後も北-2、5で個体が撮影されていることから周辺において残存個体がいることが確認されている。





撮影個体（北-3 R 元. 8. 12）



撮影個体 3 個体（北-4 R 元. 9. 9）



撮影個体 2 個体（北-5 R 元. 9. 9）

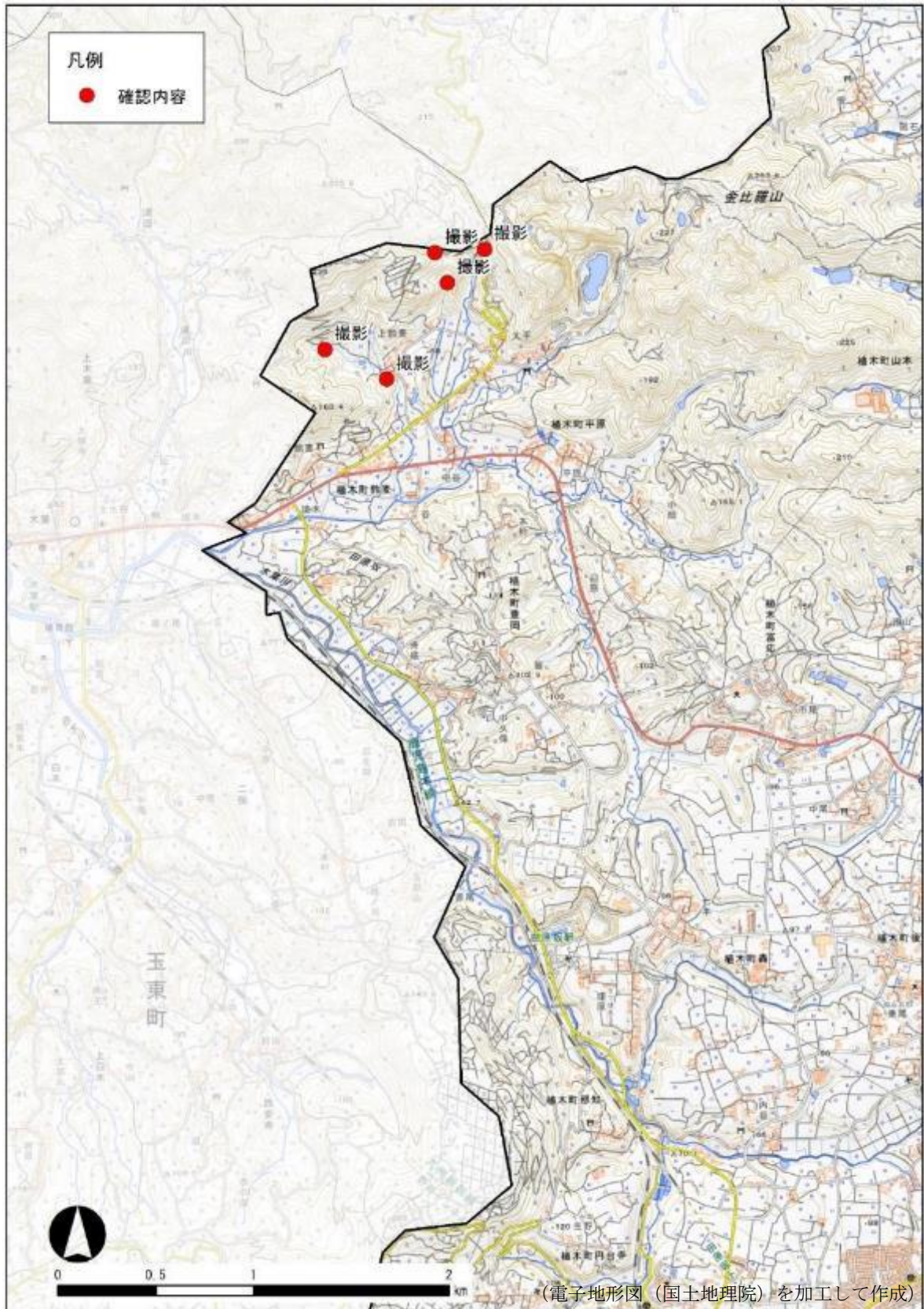


図 2-8 アライグマ確認位置（北区）

③ 西区

過去の確認地点やその周辺域における耕作地、果樹園、沢などの環境においてフィールドサイン調査やヒアリングを実施したが、確実な痕跡や情報は確認されなかった。西区で盛んに栽培され、被害発生が懸念されるミカン農家へのヒアリングも実施したが、目撃や被害の情報は得られなかった。

これまでの確認状況を基に、既存確認地点である西松尾町周辺や侵入経路として予想される松尾町、中松尾町に自動撮影カメラを設置したが、アライグマは確認されなかった。

平成 30 年 1 月にへい死体が、平成 31 年 2 月に撮影により確認された西松尾町では、それ以降の確認がなく、分散中の移動個体であったと考えられる。



地区環境



地区環境（果樹園）



地区環境（沢）



地区環境（寺社：平山神社）

④ 南区

過去の確認地点やその周辺域における耕作地、沢などの環境においてフィールドサイン調査やヒアリングを実施したが、確実な痕跡や情報は確認されなかった。

これまでの確認状況を基に、雁回山周辺や城南町鰐瀬地区、野田地区の河川付近にカメラを設置したが、アライグマは確認されなかった。雁回山周辺では平成 30 年度に富合町平原地区において複数回の撮影、城南町阿高において捕獲により確認されており、特に富合町平原地区では 12 月に撮影されていることから、定着の可能性も考えられたため、集中的に自動撮影カメラを設置したが、確認されなかったことから、移動個体であったと考えられる。

雁回山や鰐瀬地区周辺では確認されなかったが、調査期間中の令和元年 11 月には日吉地区において家屋侵入被害が報告された。確認場所は市街地内の民家であり、周囲にまとまった樹林等は存在しない。平成 29 年に足跡が確認されている野田地区の北側に位置し、いくつかの水路でつながっているため、緑川・加勢川付近から移動してきた可能性や北側から白川や坪井川を通り移動してきた可能性が考えられる。



地区環境（ため池）



地区環境（沢）



地区環境（河川）



地区環境（日吉地区アライグマ確認地点）

自動撮影カメラ調査の結果、アライグマを含む 12 種の哺乳類及び 17 種の鳥類が確認された。確認種一覧を表 2-9 に示す。

表 2-9 確認種一覽

EN：絕滅危惧 IB 類、VU：絕滅危惧 II 類

〈撮影種一覧〉 ※アライグマを除く

		
ニホンザル (北-3)	ノウサギ (南-11)	ネズミ科の一種 (北-8)
		
タヌキ (西-2)	キツネ (北-2)	テン (南-11)
		
イタチ属の一種 (南-9)	ニホンアナグマ (西-2)	ネコ (南-13)
		
ニホンイノシシ (南-9)	ニホンジカ (南-5)	キジ (西-2)
		
コジュケイ (北-4)	ニワトリ (西-2)	カモ類 (南-8)

		
キジバト (西-2)	ミゾゴイ (北-3)	ゴイサギ (南-13)
		
アオサギ (南-6)	ヤマシギ (北-7)	フクロウ (南-5)
		
カラス類 (南-3)	ヒヨドリ (南-9)	ウグイス (西-2)
		
トラツグミ (北-5)	シロハラ (西-2)	ツグミ (南-13)
		
ソウシチョウ (西-3)		

(5) アライグマ確認状況の再整理

今年度の熊本県内でのアライグマ確認状況を整理すると、本調査において北区の自動撮影カメラで多数が確認されたほか、玉名市や玉東町、山鹿市といった北区に隣接する県北部の市町でも確認が相次ぎ、複数個体が捕獲されている。県内における確認事例は 100 例を超え、県北部を中心として分布拡大と個体数の増加が進行していると考えられる。令和 2 年 1 月末時点での熊本県内でのアライグマ確認状況一覧を表 2-10 に示す。

また、令和元年 11 月の熊本市南区日吉のほか、平成 31 年 3 月に大津町においても家屋侵入による被害が報告された。確認場所となる大津町平川地区は阿蘇山麓に位置する農耕地帯であるが、南区日吉地区は山地等のまとまった緑地帯から離れた市街地である。今後、アライグマの分布拡大や個体数増加が進むことで、都市部を含む広域においてこのような事例が増加することが懸念される。

表 2-10 (1) 熊本県内におけるアライグマ生息確認状況一覧

(令和 2 年 1 月 26 日時点)

No.	場 所	確認方法	頭数	捕獲等年月日	周辺環境
1	熊本市南区城南町鰐瀬	写真	1	H22.9.19	
2	上益城郡御船町	写真	1	H24.3.3	
3	上益城郡御船町	写真	1	H24.4.28	耕作地脇の沢
4	荒尾市平山小山	捕獲	1	H26.2.3	里山
5	菊池市重味	写真	1	H26.7.25	ブドウ園
6	阿蘇郡小国町大字下城	写真	1	H26.9.30	山林
7	阿蘇郡小国町大字黒渕	写真	1	H26.10.1	山林
8	阿蘇郡小国町大字下城	写真	1	H26.10.3	山林
9	阿蘇郡小国町大字黒渕	捕獲	1	H26.10.23	山林
10	玉名市下	死亡個体	1	H26.12.4	道路上事故死
11	山鹿市鹿北町大字多久	捕獲	1	H27.12.4	里山
12	宇城市松橋町竹崎	写真	2	H28.2.22	道路沿い
13	阿蘇郡高森町大字上色見字大村	捕獲	1	H28.3.20	里山
14	山鹿市小坂	死亡個体	1	H28.9.24	道路上事故死
15	玉名市安楽寺染山地内	捕獲	2	H28.11.6	里山
16	山鹿市(詳細位置不明)	捕獲	1	H28.11.22	鳥獣捕獲報告より
17	山鹿市(詳細位置不明)	捕獲	1	H28.11.15～ H29.2.15	鳥獣捕獲報告より
18	上益城郡益城町	写真(足跡)	1	H29.3.5	水田脇水路
19	宇城市松橋町曲野	捕獲(幼獣)	1	H29.6.9	メロンハウス
20	熊本市南区野田	写真(足跡)	1	H29.6.21	河川沿い
21	熊本市北区植木町豊岡	写真	1	H29.9.23	水路沿い
22	上益城郡山都町金内	死亡個体	1	H29.10.16	道路上事故死
23	宇城市三角町大田尾	死亡個体	1	H29.11.13	道路上事故死
24	熊本市西区西松尾町	死亡個体	1	H30.1.16	道路上事故死
25	山鹿市菊鹿町上内田	捕獲	1	H30.2.21	林道沿い
26	玉名郡南関町関東	写真	1	H30.2.26	ため池
27	玉名市安楽寺	捕獲	1	H30.3.1	畑
28	玉名郡南関町関東	写真	1	H30.3.23	ため池
29	玉名郡和水町日平	捕獲	1	H30.4.24	林道沿い
30	宇土市岩古曾町	写真	1	H30.4.25	民家付近通路

表 2-10 (2) 熊本県内におけるアライグマ生息確認状況一覧

No.	場 所	確認方法	頭数	捕獲等年月日	周辺環境
31	玉名郡和水町日平	捕獲	1	H30.4.26	林道沿い
32	玉名郡南関町関町	捕獲	1	H30.5.5	ため池脇
33	玉名郡南関町関町	死亡個体	1	H30.5.22	道路沿い
34	玉名郡玉東町上木葉	写真	1	H30.7.29	川沿い
35	熊本市南区城南町阿高	捕獲	1	H30.8.15	川沿い
36	玉名郡玉東町上木葉	捕獲	1	H30.8.17	山林
37	熊本市南区富合町平原	写真	1	H30.8.25	山林の沢沿い
38	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	H30.9.23	山林の沢沿い
39	玉名市安楽寺	写真	1	H30.10.6	山林の沢沿い
40	玉名市安楽寺	写真	1	H30.10.7	山林の沢沿い
41	玉名市安楽寺	写真	1	H30.10.10	山林の沢沿い
42	山鹿市石	死亡個体	1	H30.10.10	道路上事故死
43	玉名郡和水町日平	写真	1	H30.10.11	山林の沢沿い
44	菊池市重味	写真	1	H30.10.13	ブドウ園
45	玉名市安楽寺	写真	1	H30.10.20	山林の沢沿い
46	玉名郡玉東町浦田	写真	1	H30.10.22	山林の沢沿い
47	玉名市安楽寺	写真	1	H30.10.24	山林の沢沿い
48	玉名郡玉東町浦田	写真	1	H30.10.30	山林の沢沿い
49	玉名郡玉東町浦田	捕獲	1	H30.10.31	山林の沢沿い
50	玉名郡玉東町浦田	写真	2	H30.11.4	山林の沢沿い
51	玉名市安楽寺	写真	1	H30.11.4	山林の沢沿い
52	玉名郡玉東町上白木	捕獲	1	H30.11.5	山林
53	玉名市安楽寺	捕獲	1	H30.11.5	山林の沢沿い
54	玉名市安楽寺	写真	1	H30.11.5	山林の沢沿い
55	玉名市安楽寺	写真	1	H30.11.6	山林の沢沿い
56	熊本市北区植木町平原	写真	1	H30.11.7	山林の沢沿い
57	玉名郡玉東町浦田	写真	1	H30.11.14	山林の沢沿い
58	玉名郡玉東町浦田	写真	1	H30.11.15	山林の沢沿い
59	山鹿市小坂	写真	1	H30.11.24	山林の沢沿い
60	玉名市安楽寺	捕獲	1	H30.11.24	山林の沢沿い
61	山鹿市菊鹿町上内田	捕獲	1	H30.12.5	山林
62	熊本市南区富合町平原	写真	1	H30.12.6	山林の沢沿い
63	熊本市北区植木町平原	写真	1	H30.12.23	山林の沢沿い
64	玉名郡玉東町浦田	写真	1	H31.1.8	山林の沢沿い
65	熊本市北区植木町平原	写真	1	H31.1.9	山林の沢沿い
66	山鹿市鹿北町椎持	捕獲	1	H31.1.15	宅地
67	玉名市石貫	捕獲	1	H31.1.23	山林
68	菊池市雪野	捕獲	1	H31.2.1	山林の沢沿い
69	熊本市西区西松尾町	写真	1	H31.2.9	山林
70	山鹿市鹿北町多久	捕獲	1	H31.2.13	山林
71	熊本市北区植木町平原	写真	1	H31.3.2	山林の沢沿い
72	大津町平川	写真	1	H31.3.12	民家屋根裏
73	天草市本渡町広瀬	捕獲	1	H31.3.19	イチゴハウス脇
74	熊本市北区植木町平原	写真	1	R 元.5.5	山林の沢沿い
75	玉名郡玉東町浦田	捕獲	1	R 元.7.18	山林

表 2-10 (3) 熊本県内におけるアライグマ生息確認状況一覧

No.	場 所	確認方法	頭数	捕獲等年月日	周辺環境
76	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	R 元.7.25	山林の沢沿い
77	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	R 元.7.25	山林の沢沿い
78	玉名郡玉東町上木葉	捕獲	1	R 元.7.29	山林
79	熊本市北区植木町平原	写真	1	R 元.8.4	山林の沢沿い
80	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	R 元.8.12	山林の沢
81	熊本市北区植木町平原	写真	1	R 元.8.13	山林の沢沿い
82	熊本市北区植木町鈴麦	写真	3	R 元.9.9	山林の沢沿い
83	熊本市北区植木町鈴麦	写真	2	R 元.9.9	山林の沢沿い
84	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	R 元.10.12	山林の沢沿い
85	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	R 元.10.16	山林の沢沿い
86	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	R 元.10.16	山林の沢沿い
87	熊本市北区植木町平原	写真	1	R 元.10.16	山林の沢沿い
88	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	R 元.10.17	山林の沢沿い
89	玉名市安楽寺	写真	1	R 元.10.25	山林の沢沿い
90	玉名市安楽寺	写真	1	R 元.10.26	山林の沢沿い
91	玉名市安楽寺	写真	1	R 元.11.1	山林の沢沿い
92	玉名市安楽寺	写真	1	R 元.11.3	山林の沢沿い
93	玉名市安楽寺	写真	1	R 元.11.4	山林の沢沿い
94	熊本市北区植木町鈴麦	捕獲	1	R 元.11.8	山林の沢沿い
95	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	R 元.11.8	山林の沢沿い
96	玉名市安楽寺	写真	1	R 元.11.10	山林の沢沿い
97	玉名市安楽寺	写真	1	R 元.11.15	山林の沢沿い
98	熊本市南区日吉	写真	1	R 元.11.13	民家屋根裏
99	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	R 元.11.16	山林の沢沿い
100	玉名市安楽寺	写真	1	R 元.11.23	山林の沢沿い
101	阿蘇郡高森町津留	捕獲	1	R 元.11.28	山林
102	玉名市安楽寺	捕獲	1	R 元.12.3	山林の沢沿い
103	山鹿市小坂	捕獲	2	R 元.12.9	山林
104	玉名市安楽寺	捕獲	1	R 元.12.9	山林の沢沿い
105	玉名市安楽寺	写真	1	R2.1.20	山林の沢沿い
106	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	R2.1.21	山林の沢沿い
107	玉名市安楽寺	写真	1	R2.1.26	山林の沢沿い
	107 事例 個体確認 114 頭(うち捕獲及び死亡個体 41 頭)				

※ : 熊本市内での確認

※太字は本調査における確認事例

(6) 熊本市におけるアライグマ確認の経年推移

熊本市においては平成 28 年度から生息状況の把握を目的とした調査を実施し、自動撮影カメラを用いて継続的にモニタリングを行っている。これまでの 4 か年での生息状況調査における自動撮影カメラでの確認状況を表 2-11 及び図 2-9 に示す。なお、今年度調査では、同一箇所において連続的に撮影されたデータが存在したが、同一個体が留まっていた可能性があることから、30 分以内に撮影されたデータについては撮影回数には含めずに比較を行った。

自動撮影カメラを用いた生息状況調査では平成 29 年度に初めて確認され、平成 30 年度では確認地点数、撮影回数ともに増加しているが、カメラの設置箇所数、撮影日数が増加したことで撮影頻度には若干の低下が確認された。今年度調査の結果、確認地点数に変化はないものの、撮影回数、撮影頻度ともに増加が確認された。なお、確認地点数に変化は見られないが、内訳をみると、今年度は 5 地点全てが北区での確認であり、北区における個体数の増加、生息範囲の拡大といった状況を示唆していると考えられる。今年度、北区においては 2 個体、3 個体の同時確認がなされていることから複数個体が定着している可能性が示唆され、今後、繁殖により個体数が急増する可能性が高まってきていると考えられる。

また、西区、南区では今年度は確認されなかった。これは、これまでの確認個体が移動中の個体であり、定着せずに、別の場所へと移動した結果と考えられる。設置箇所数や撮影日数は平成 30 年度よりも増加しているにも関わらず、一度も確認されなかったことから、生息個体数は少ないと考えられるが、周辺に生息している可能性は高いと考えられ、今後も継続的にモニタリングを行い、状況把握と確認時の早期対策を実施することが望ましい。

表 2-11 生息状況調査におけるアライグマ確認状況の経年推移

年度	地区	カメラ 設置箇所数	アライグマ 確認地点数	撮影日数※1	アライグマ 撮影回数※2	撮影頻度 (回/日)
平成 28 年度	合計	13	0	761	0	0.0000
	北区	5	0	276	0	0.0000
	西区	4	0	254	0	0.0000
	南区	3	0	194	0	0.0000
	東区	1	0	37	0	0.0000
平成 29 年度	合計	15	2	1772	6	0.0034
	北区	9	1	877	5	0.0057
	南区	6	1	895	1	0.0011
平成 30 年度	合計	23	5	3816	10	0.0026
	北区	12	3	1765	6	0.0034
	西区	3	1	588	1	0.0017
	南区	8	1	1463	3	0.0021
令和元年度	合計	28	5	4333	15	0.0035
	北区	10	5	1628	15	0.0092
	西区	5	0	776	0	0.0000
	南区	13	0	1929	0	0.0000

※1. 撮影日数は設置カメラ全台の合計日数

※2. 撮影回数は「同一箇所において 30 分以内に連続して撮影された回数」を除いた回数とした。

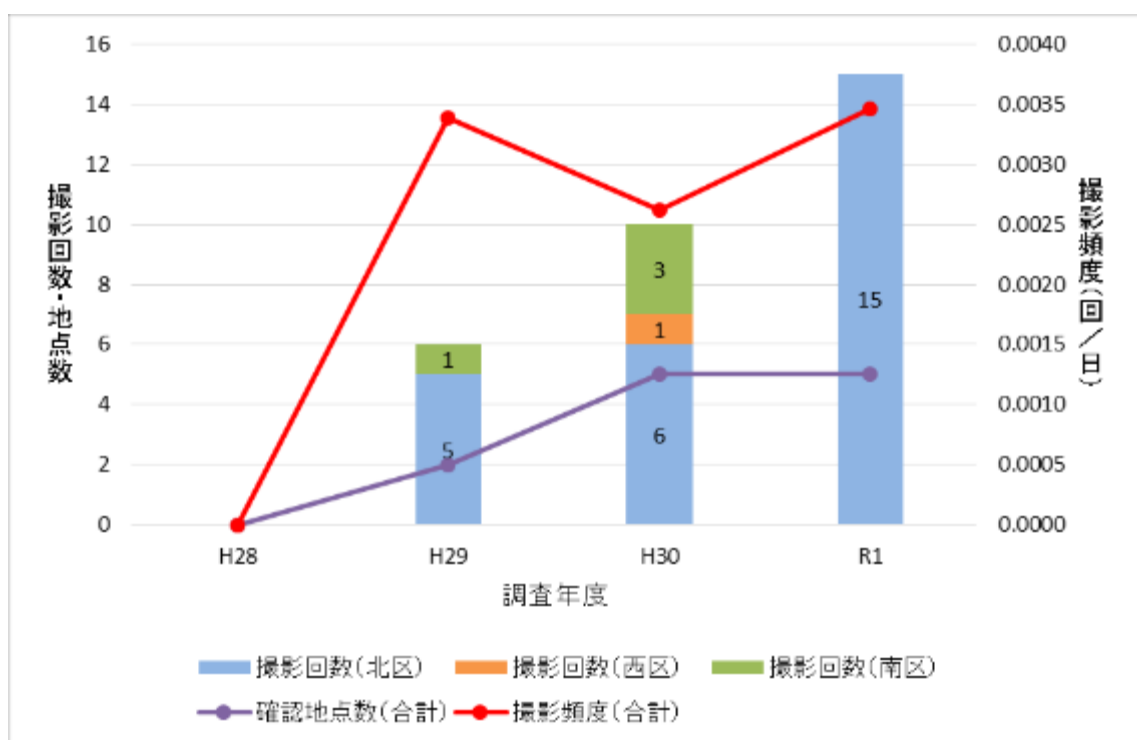


図 2-9 アライグマ確認状況の経年推移